

2014年11月20日

各 位

ホソカワミクロン株式会社
代表取締役社長 細川 悦男
東証1部(6277)
連絡先 企画管理本部 経営企画部
東 充延
TEL 072-855-2704

薬剤塗布型 PTA バルーンカテーテルの非臨床試験成績の医学雑誌掲載について

当社およびアンジェスMG株式会社（本社：大阪府茨木市、代表取締役社長：山田英）、メディキット株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：栗田宣文）の共同研究開発プロジェクトであるNF- κ Bデコイオリゴ塗布型PTAバルーンカテーテルの動物試験成績に関する論文が、循環器領域の医学誌「Circulation: Cardiovascular Interventions」に掲載されましたのでお知らせいたします。

本研究成果は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合機構の平成19年度橋渡し促進技術開発の委託事業および平成21年度第2回イノベーション実用化助成事業の助成対象として採択されたプロジェクトの成果であり、国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科において実施されたものです。

当該試験は、NF- κ Bデコイオリゴ塗布型PTAバルーンカテーテルの有効性を再狭窄動物モデルで確認したものであり、NF- κ Bデコイが再狭窄の原因となる新生内膜の増殖を抑制し、再狭窄予防に有効であることが示されたものです。

当社は当助成事業におけるNF- κ Bデコイオリゴの粒子化とPTAバルーンカテーテル表面への安定した塗布にかかわる製造技術の開発を受託しております。

この論文は下記に掲載されています。

<http://circinterventions.ahajournals.org/content/early/2014/11/18/CIRCINTERVENTIONS.114.001522>

現在、末梢血管内治療として用いられているPTAバルーンカテーテル治療は、再狭窄（治療後に再び狭窄してしまうこと）の率が高く、医療現場においては再狭窄予防が期待できるPTAバルーンカテーテルの開発が望まれております。

NF- κ Bデコイオリゴ塗布型PTAバルーンカテーテルは、バルーン部の外表面に抗炎症作用を持つ核酸医薬NF- κ B デコイオリゴを塗布することで、バルーン拡張によって引き起こされる血管炎症の抑制、血管の再狭窄までの期間延長および外科的手術の回避が期待できます。アンジェスMG株式会社とメディキット株式会社は現在、透析シャント静脈狭窄病変を有する患者様を対象とした治験を国内で実施しております。

以上